

産業能率大学 情報マネジメント学部

中国語A(発音・挨拶)	履修年次	1	
	単 位	1	
周 偉嘉	配当期	前・後	
	授業方法	演習※ / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>授業の構成は発音、会話、応用演習からなる。また、中国の歌などを取り上げ、会話に役に立つ表現を盛り込んだ生き生きとした場面を設定して練習を行う。各ユニットの終わりには、気軽に楽しく勉強できるように、DVD などの映像資料を用いて中国文化、生活習慣の紹介も行う。本科目は、中国語に始めて接する皆さんが取り組みやすいように工夫されていることが特徴である。たとえば、中国語には日本語にはない発音が多いが、授業中に示す教員の身振り手振りから発音の仕方が簡単に学べ、そのアクセント、イントネーション、リズム等と一緒に習得することができる。皆さんが演習に積極的に参加すれば、中国語文化を味わうことができると同時に、人生の道具としての、もう一つの外国語を修得することも期待できよう。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・中国語の「標準語」とローマ字表記の関係を理解し、ピン音字母で表記された発音を身につけることができるようになる。 ・中国語のアクセントに関する四声を身につけ、独特な声調をリズムで体得することができるようになる。 ・簡単な中国語の文が発音でき、また協働して四点セット(日本語、簡体字、拼音、リズム)で中国語の挨拶ができるようになる。 			
成績評価の方法			
この科目はディプロマポリシーと科目の到達目標に対応して、出席、課題提出、授業外学習、授業の取り組み(PBLとアクティブラーニング)、授業外に課すレポートテストなどで評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	導入:授業説明。声調と単母音の学習と演習	8	音節と漢字:辞書の調べ方の学習と演習
2	母音と声調:単母音と複母音の学習と演習	9	発音と読解:会話と読解の基礎を固める
3	子音の勉強:母音の復習と子音の学習と演習	10	中国語の基本文と判断文の学習と演習
4	声母と韻母:中国語の音節構造の学習と演習	11	基本文型と判断文の練習を行う。
5	鼻音と鼻母音:鼻母音の発音の学習と演習	12	発音・音節・基本文の学習効果を確認する。
6	声調の変化:四点セット勉強法を体得する	13	パソコン中国語:応用中国語に取り組む。
7	拼音と音節:音節表の音節の学習と演習	14	総復習と理解度の確認